



NONAKA

Trombones



True
BACH
MADE IN THE USA

Vincent Bach Story

優れた楽器は、芸術と技術の結晶と言えます。設計者、熟練工、プレーヤーとの共同作業によって創られていきます。
そういったなか、バックの創造者ヴィンセント・バックは、自分自身が、設計者・製作者・プレーヤーとして全て一流という天賦の才を持った類い希な人物でした。

1890年、ウィーンで生まれたヴィンセント・シュローテンバッハ(Vincent Schrottenbach)は
壮麗なサウンドに惹かれてトランペットの演奏を始めます。
ヴィンセントはまた、技術の才に長け、機械工学の学位を習得しますが、将来を約束されたエンジニアとしての道ではなく音楽家としての道を進みました。英語読みの芸名「ヴィンセント・バック」として、ヨーロッパ各国でリサイタルを行いました。

優れたソリストとして名声を高めました。

第一次世界大戦を契機としてアメリカに渡り、ボストン交響楽団、メトロポリタン歌劇場管弦楽団の第一トランペット奏者として活躍
ストラヴィンスキーの火の鳥やペトルーシュカのアメリカ初演も行います。

演奏活動を続けているうちに、マウスピースの重要性を痛感し、高品質のマウスピース製作への情熱に目覚めたヴィンセントは
ニューヨークのセルマー・ミュージックストアの裏に工房を作り、マウスピースの改造と製作を始め、研究に明け暮れます。

そして1918年に、本格的にマウスピース製作を始めます。当時のマウスピースの価格が1ドル50セント程度のところ

バックのマウスピースは50ドルで販売されましたが、高い評価を得て、事業としても急速に成長を遂げていきました。

バック最初のトランペットは、1924年に生まれました。

演奏家は、これはまさに、トランペットにおけるストラディヴァリウスだ、と評しました。バック・ストラディヴァリウスモデルの誕生です。

待望されていたバック・トロンボーンは、1928年に生まれました。

世界恐慌の吹き荒れる厳しい時代も、バックは優れた設計、高品質とサービスにより、見事に成長を続けました。

そしてヴィンセントが70歳を迎えた1961年、自分のコンセプトを後世に伝えるために、多数の高額なオファーを断り
バックの工場を以前から親交の深かったセルマーUSA社(現コーン・セルマー社)に委ねました。

後にヴィンセントは、次のような手紙を残しています。

先日工場に行ったところ、きちんと組織され、素晴らしい運営がされていました。優秀なスタッフと有能な職人達が揃い
皆が喜んで仕事をしているようでした。皆、的確に私の図面を理解しており
バックの伝統を継承したいと熱心に考えていました。
皆様の成功が続くことを願っています。

ヴィンセント・バック

1976年に亡くなるまで、ヴィンセントはバックの楽器デザインと製造に密接に関わり続け
将来創りたかった楽器にまで及ぶ数千枚の詳細な設計図とマニュアルを遺しました。
現在に至るまで、バックは最高の金管楽器として、世界中のあらゆるプレーヤーに愛され続けています。
2018年、創業100周年・トロンボーン生産90周年を迎えました。

私たちのお勧めします



ジェイ・フリードマン
Jay Friedman



チャールズ・バーノン
Charles Vernon



秋山 鴻市
Koichi Akiyama



池上亘
Kou Ikegami



小田桐 寛之
Hiroyuki Odagiri



馬場 桜佑
Osuke Baba



藤原 功次郎
Kojiro Fujihara



村田 陽一
Yoichi Murata

シカゴ交響楽団
首席トロンボーン奏者

シカゴ交響楽団
首席バストロンボーン奏者

元NHK交響楽団
バストロンボーン奏者

NHK交響楽団
トロンボーン奏者
洗足学園音楽大学教授

元東京都交響楽団
首席トロンボーン奏者
洗足学園音楽大学
客員教授
昭和音楽大学客員教授

トロンボーン奏者
Throw Line

ジャパン・アーツ所属
元日本フィルハーモニー
首席トロンボーン奏者
洗足学園音楽大学
非常勤講師

トロンボーンプレイヤー
作編曲家
「村田陽一-SOLID BRASS」
「村田陽一-ORCHESTRA」
「村田陽一-HOOK UP」
「4 Bone Lines」



トロンボーン クァルテット ジャパン

門脇賀智志、吉川武典、岸眞開城、森田晃



Bachbone Japan

青木昂、福田えりみ、小田桐寛之、井口有里、池上亘、篠崎卓美

ヴィンセント・バック氏が創った究極のトロンボーン、バック・トロンボーン。
そこにバック氏の生前存在しなかった、高度な最新テクノロジーによるロータリーバルブシステムと最適にコンビネーション
したモデルから、ひとりひとりの希望にあう最高のバック・トロンボーンを選択することが出来ます。



Bach 42B

永遠の standard。
伝統のしっかりとしたサウンドと吹奏感。

Bach 42BO

現在最高のベストセラーモデル。
42Bの音色と抜群の吹き心地。



Bach 42BOF

42B伝統の響きを守りつつ、スムーズな吹奏感と
より自由なサウンド。

Bach 42A

程よい抵抗感のハグマンバルブ。
ソフトなヨーロピアンサウンド。



Bach 42AF

息の流れがスムーズなインフィニティ・アキシャルフローバルブ。
しっかりとしたワイドなサウンド。

The Artisan Collection

Bach A47BO

バックデザインを基本に現代のニーズに答えたモデル。
よりスムーズなレスポンスと気品あるサウンド。



Stradivarius

ストラッド

“Bach for Professional” ~ひとつのプレステージの象徴~

バックを手にするよろこび。それは品位、伝統、風格。真似しようにも真似られぬ、超えようにも超えられぬオリジナルの重み。

コンセプトからディテールまで、バックは今日のトロンボーンの「フォルムの基準」になっています。

TenorBass Trombone



42B/42BO(オープンラップ)

- キー・調子 : B♭/F ●ベル : 8-1/2"
- ボア : 13.90mm(太管) ●バルブ : ロータリーバルブ
- 仕上げ : イエロープラスベル ラッカー仕上げ(GL)/イエロープラスベル 銀メッキ仕上げ(SP)/ゴールドプラスベル ラッカー仕上げ(GB)/スターリングプラスベル ラッカー仕上げ

42B

世界のオーケストラプレイヤーのスタンダードとして不動の名声を誇る太管テナーバストロンボーン。内径が13.90ミリの太ボアのスライドと豊かで遠鳴りがする8-1/2インチのハンドハンマードの1枚取りベルは、広いダイナミックレンジで暖かくて力強い音色を生み出します。Fアタッチメントには、心地良い抵抗感と密度の濃い締まった音色をもたらすトラディショナルラップのロータリーバルブが採用されています。



42BO

名器42BのFアタッチメントの巻きを緩やかにしたオープンラップの太管テナーバストロンボーン。Fアタッチメントのレイアウト以外は42Bと同じ仕様で、42Bの音色を持ちながら、よりオープンな吹奏感を得ることができます。

日本別注特別生産モデル

42BO GL(メイン&Fチューニングスライド GB仕上げ)

世界のオーケストラプレイヤーのスタンダードとして不動の名聲を誇る名器バック社の42BのFアタッチメントの巻きを緩やかにした、オープンラップの太管テナーバストロンボーン42BO。メインチューニングスライドとFチューニングスライドがゴールドプラス仕上げ仕様の42BOモデルが日本別注特別生産モデルとして発売されました。イエロープラスベルでありながら、ゴールドプラスの暖かみのある柔らかい音色を併せ持ち、「心地よい抵抗感」があります。

- キー・調子 : B♭/F ●ベル : 8-1/2"
- ボア : 13.90mm(太管) ●バルブ : ロータリーバルブ
- 仕上げ : イエロープラスベル ラッカー仕上げ(GL)/メイン&Fチューニングスライド ゴールドプラス(GB)



Bach トライディショナルラップとオープンラップ

■トライディショナルラップは、Fアタッチメントのレイアウトをコンパクトにまとめたもので、古くから伝統的に使われてきたタイプです。F管がしっかりと本体に組み込まれているので、心地よい抵抗感を得ることができ、ピアニシモを演奏しているときの安心感があります。

■オープンラップは、Fアタッチメントのレイアウトを大きくとって流れを緩やかにしたタイプで、F管と本体の接合部が少なく、本体にはFアタッチメントの付いていないテナートロンボーンと同じように支柱が2本付くので、比較的テナートロンボーンに近いオープンな吹奏感と明るめの音色を得ることができます。



トライディショナルラップ



オープンラップ

42BOF

「オープンフローバルブ」を採用。高音域と低音域の吹きやすさを見事に両立しています。
トロンボーンベルの最高傑作であるバック伝統の「42Bell」は、レスポンス良く音色の変化が自在です。
ベルがより自由に響く支柱を採用。自然なベルの振動により、レスポンス良くより澄んだ、遠達性ある音を生み出します。
シカゴ交響楽団首席トロンボーン奏者、ジェイ・フリードマンが監修しています。



ジェイ・フリードマン
Jay Friedman



オープンフローバルブ

ベルがより自由に響く支柱

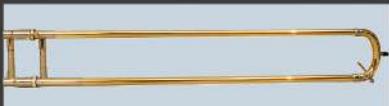
42BOF

- キー：調子：B♭/F ●ベル：8-1/2"
- ボア：13.90mm(太管)
- バルブ：オープンフローバルブ
- 仕上げ：イエロープラスベル ラッカー仕上げ(GL)

W.W. Bach STRADIVARIUS オプション

ナロースライド

スライドの幅が狭いものをナロースライドと言います。バックのトロンボーンでは、モデル42に限り、オプションでナロースライドを選択することができます。



ナロースライド

幅の狭いスライドは、心地良い抵抗感と明るめの音色を生み出します。

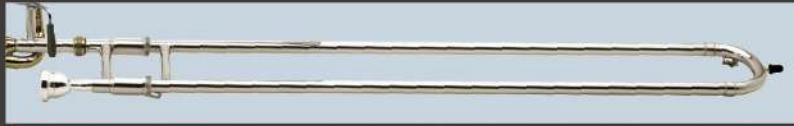


モデル42-50スライド

モデル42とモデル50に標準装備されているスライド。息の入りがスムーズで、抵抗感の少ない暗めの音を生み出します。

ライトウェイットスライド

通常イエロープラスで作られているアウタースライド(スライドの外管)の重量を軽くし、ニッケルシルバー製にしたスライド。細かいパッセージに適した素早いスライドワークが容易になる他、吹奏感も軽くなり、ニッケルシルバー特有の引き締まった音色が得られます。



42モデルと36モデルの違い

42のモデルは、太管でボアサイズが13.90mmになります。36のモデルは、中細管でボアサイズが13.34mmで少し細いモデルになり、マウスピースは細管用を使用します。また、スライドの幅も若干狭く、手の小さい方にもスライディングがスムーズで、扱いやすくなっています。ベルサイズは36モデルは8インチで、42モデルに比べ1/2インチ小さくなっています。

36のモデルには、テナートロンボーンの36、テナーバストロンボーンの36B、36BOがラインナップされています。

スライド幅の違い



36モデル



42モデル



topics

42AF

スムーズな息の流れが人気のバルブシステムを、バックが更に進化させたうえ、バランス良くトータルセッティングされ、レスポンス良く吹きやすいモデルです。音の純度が高く、繊細な表現が可能です。

新しく特許を取得したシールドセラミックのトップおよびボトムベアリング付のインフィニティ・アキシャルフローバルブは、スムーズなバランス・アクションをもたらし、以前のタイプに比べ頻繁なメンテナンスを不要にしてくれます。

そして、表面の摩耗を軽減し、優れた密閉性が保たれています。

新しいミニバルのリンクージにより動きも滑らかになりました。



- キー・調子：B♭/F ●ベル：8-1/2"
- ボア：13.90mm(太管)
- バルブ：インフィニティ・アキシャルフローバルブ
- 仕上げ：イエローブラスベル ラッカー仕上げ(GL) / ゴールドブラスベル ラッカー仕上げ(GB)

42A

42Bのロータリーバルブの代わりにハグマンバルブを装着した太管テナーバストロンボーン。ハグマンバルブを採用することで、F管使用時はもちろん、通常の42Bよりも息の入りが良い吹奏感を得ることができます。比較的明るめのヨーロッパ的なサウンドを好む人に適しています。



- キー・調子：B♭/F ●ベル：8-1/2"
- ボア：13.90mm(太管)
- バルブ：ハグマンバルブ
- 仕上げ：イエローブラスベル ラッカー仕上げ(GL) / ゴールドブラスベル ラッカー仕上げ(GB)

Bach バルブの種類

バックのテナーバス(バス)トロンボーンのFアタッチメントの切り替えバルブには、通常のロータリーバルブの他に、ハグマンバルブ、インフィニティ・アキシャルフローバルブ、オープンフローバルブを採用したモデルがあります。

■ロータリーバルブ

ドイツのフルードリヒ・ブリューメルが考案して以来、180年使われてきた長い伝統を持つバルブシステム。円筒形のシリnderの軸を回転させてことで管の通り道を変える仕組みです。心地良い抵抗とレガートのつながりが良いというメリットがあり、トロンボーンのFアタッチメントだけでなく、ホルンやテューバのバルブにも多く使用されています。



■ハグマンバルブ

スイスのルネ・ハグマンがトロンボーンのために考案したバルブシステム。ピストンバルブのように内部を管が通る構造の円筒形の軸を回転させることで、管の通り道を切り替える仕組みです。ロータリーバルブよりも息の流れがスムーズで、セイヤーバルブよりも軽い構造なので、比較的抵抗の少ない吹奏管とヨーロッパ的な明るめの音色を得ることができます。



■インフィニティ・アキシャルフローバルブ

ナチュラルホルンのボーゲンの切り替えにヒントを得て発想したもので、可能な限り管の通り道を緩やかに曲げるよう工夫した構造を持っています。円錐形の軸を楽器の主管に沿って回転させることで、電車のポイントのように管の通り道を切り替えます。結果として、テナーに近い吹奏感が得られるので、抵抗感が少ないワイドなサウンドを得ることができます。



■オープンフローバルブ

ロータリーバルブと基本的な構造は同じですが、ハグマンバルブやインフィニティ・アキシャルフローバルブのような抜ける吹奏感が得られるようにバルブ内の通り道を真円に近づけています。永年の伝統に培われたロータリーバルブの信頼感と高音域での安定度を失うことなく低音域の音抜けを向上させたハイブリッドモデルです。ストロークが短いため操作性にも優れています。



True
BACH
MADE IN THE USA

アルティザン A47I

ヴィンテージ・バックを彷彿とさせる新設計のベル&ハンドスライド、リバース式チューニングスライドに加え、人気の「インフィニティ・アキシャルフローバルブ」をより「深化」して搭載。スムーズな息の流れ・アクション・豊かなバックのサウンドを併せ持つバック最新作です。オプションユニットの組み合わせも楽しめます。



- キー・調子:B♭/F ●ベル:8-1/2"
- ボア:13.90mm (太管)
- バルブ:インフィニティ・アキシャルフローバルブ
- 仕上げ:イエロープラスベル ラッカ仕上げ (GL) /
- 他:フラットリム及びソルダードスティールワイヤーベル
リバース・メインチューニングスライド
アルティザンスタイル・ウォーターキー[®]
アジャスタブル・レバー・システム

アルティザン A47BO

ヴィンテージ・バックを彷彿とさせる新設計のベル&ハンドスライド、リバース式チューニングスライドに加え、「アルティザンバルブ」を搭載。豊かなバックサウンド×レスポンスの良さ×理想的な抵抗感が魅力のモデルです。更にオプションユニットの組み合わせにより、より自分の理想の楽器を創りあげることが可能です。



- キー・調子:B♭/F ●ベル:8-1/2"
- ボア:13.90mm (太管)
- バルブ:アルティザンバルブ
- 仕上げ:イエロープラスベル ラッカ仕上げ (GL) /
- 他:フラットリム及びソルダードスティールワイヤーベル
リバース・メインチューニングスライド
アルティザンスタイル・ウォーターキー[®]

A47I・A47BO オプション

(ベル)	(チューニングスライド)	(バルブ)	(スライド)
B47Y 8 1/2" イエロープラス・ベル アルティザン彫刻	TS47Y イエロープラス・クリーク リバース・チューニング管	V47BO アルティザンバルブ オープンラップ .562" ボアFセクション ラッカ仕上げ	HS47B .547ボア スタンダードウェイト、イエロープラス外管 イエロープラス・スライドクリーク アルティザンスタイル・ウォーターキー [®]
B47G 8 1/2" ゴールドプラス・ベル アルティザン彫刻	TS47G ゴールドプラス・クリーク リバース・チューニング管	V47I インフィニティ・アキシャルフローバルブ .562" ボアFセクション アジャスタブル・レバーシステム ラッカ仕上げ	HS47NLT .547ボア ライトウェイト、ニッケルシルバー外管 ニッケルシルバー・スライドクリーク アルティザンスタイル・ウォーターキー [®]
B47GLT 8 1/2" ライトウェイト・ ゴールドプラス・ベル アルティザン彫刻	TS47N ニッケルシルバー・クリーク リバース・チューニング管	V47 イエロープラス・グースネック ラッカ仕上げ	HS47LB .562ボア スタンダードウェイト、イエロープラス外管 イエロープラス・スライドクリーク アルティザンスタイル・ウォーターキー [®]

Bass Trombone



50B3

主管に2つのバルブを装着したインラインタイプのダブルロータリーバストロンボーン。バルブセクション以外は50Bと同じで、押すとF管になる第1バルブ以外に、押すとG♭管になる第2バルブが付いています。インラインタイプの楽器は、第1バルブのF管、第2バルブのG♭管以外に、2つのバルブを両方押すとD管にもなるので、低音域で様々なポジションの可能性が広がります。



50B3O

50B3と同じ構造で、第1バルブを押したときのF管と第2バルブを押したときのG♭管が、息の流れがスムーズになるようなオープンラップのレイアウトになったモデルです。

50B3/50B3O(オープンラップ)

- キー・調子:B♭/F/G♭/D
- ベル:9-1/2"
- ボア:14.28mm(太管)
- バルブ:ロータリーバルブ(インライン)
- 仕上げ:イエロープラスベル
ラッカー仕上げ(GL)/
イエロープラスベル
銀メッキ仕上げ(SP)/
ゴールドプラスベル
ラッカー仕上げ(GB)

50B2

50BのF管に第2バルブを装着したオフセットタイプのダブルロータリーバストロンボーン。バルブセクション以外は50Bと同じで、第2バルブがF管の途中に付いています。その結果、第1バルブを押しているときに第2バルブを押すと、両方の管の長さを合わせたE♭管になるという仕組みです。インラインタイプのように第2バルブだけを単独で使うことはできませんが、第2バルブが主管を通っていないので、シングルロータリーの楽器のような吹奏感を得ることができます。

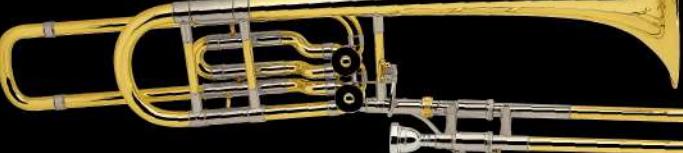


50B2O

50B2と同じ構造で、第1バルブを押したときのF管と第2バルブを押したときのE♭管が、息の流れがスムーズになるようなオープンラップのレイアウトになったモデルです。

50B2/50B2O(オープンラップ)

- キー・調子:B♭/F/E♭
- ベル:9-1/2"
- ボア:14.28mm(太管)
- バルブ:ロータリーバルブ(オフセット)
- 仕上げ:イエロープラスベル
ラッカー仕上げ(GL)/
イエロープラスベル
銀メッキ仕上げ(SP)/
ゴールドプラスベル
ラッカー仕上げ(GB)



インラインとオフセット

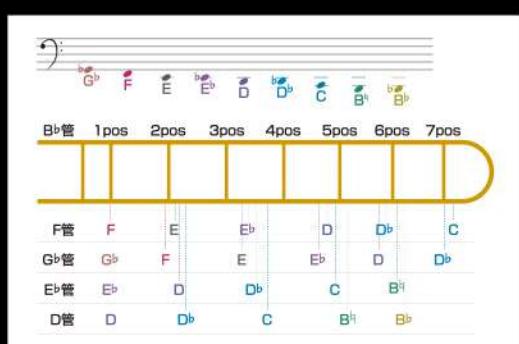
ダブルロータリーのバストロンボーンには、第2バルブが主管に付くインラインと、第2バルブがF管に付くオフセットの2種類があります。それぞれ長所と使い方が違うので、特性をよく知って選択することをお薦めします。

■インライン

第2バルブが主管に付くタイプのダブルロータリーシステム。バルブを押すとF管になる第1バルブとG♭管になる第2バルブが両方とも主管に付いているので、どちらのバルブも独立して使用できるというメリットがあります。両方のバルブを同時に押すとD管になり、4種類の管から好みのポジションを選ぶことができるわけです。特に、F管よりも半音高いG♭管は、5ポジションの音を1ポジションで吹くことができる所以便利です。

■オフセット

第2バルブがF管に付くタイプのダブルロータリーシステム。1音下がる第2バルブが、主管ではなくF管に付いているので、第1バルブと同時に第2バルブを押すとE♭管になります。第2バルブだけ単独で押しても作用しませんが、主管を通るバルブは1つだけなので、シングルロータリーの楽器のような吹奏感と音抜けを得ることができます。



True
BACH
MADE IN THE USA

50B

バックバストロンボーンのベーシックなシングルロータリーのバストロンボーン。管の長さはテナーバストロンボーンと同じですが、42Bよりも太い14.28ミリのボアサイズと9-1/2インチの大型ベルを備えているので、バストロンボーン特有の重厚で豊かな音色が出ます。ロータリーパルプが1本のシンプルな構造で、バストロンボーンにしては重量も軽く、吹きやすいので、テナーバストロンボーンからの持ち替えにも向いています。シングルロータリーのバストロンボーンは、ペダルトーンの半音上のBの音を出すことができませんが、50Bは、Fアタッチメントの抜差管を長くのばしてE管にすることで出すことができます。



50B/50BO(オープンラップ)

- キー・調子:B♭/F
- ベル:9-1/2"
- ボア:14.28mm(太管)
- パルプ:ロータリーパルプ
- 仕上げ:イエロープラスベル ラッカー仕上げ(GL) / イエロープラスベル 銀メッキ仕上げ(SP) / ゴールドプラスベル ラッカー仕上げ(GB)

50BO

50Bと同じ構造で、Fアタッチメントを押したときの息の流れがスムーズになるオープンラップのレイアウトになったモデルです。



50A3

50Bのロータリーパルプの代わりにハグマンパルプを装着したインラインタイプのダブルバルブバストロンボーン。構造は50Bと同じで、より息の流れがスムーズになるハグマンパルプが2つ装着されています。ハグマンパルプのメリットを活かして、バストロンボーンでありながら、ヨーロッパ的な明るい音を出すことができます。



- キー・調子:B♭/F/G♭/D
- ベル:9-1/2"
- ボア:14.28mm(太管)
- パルプ:ハグマンパルプ(インライン)
- 仕上げ:イエロープラスベル ラッカー仕上げ(GL) / ゴールドプラスベル ラッカー仕上げ(GB)

50AF3

バックが新しく特許を取得したインフィニティ・アキシャルフローパルプを、新たな支柱の配置そして溶接箇所を少なくすることにより、現代のニーズに合った「パワフルでいて小回りの利く吹奏感、高い演達性」を兼ね備えたモデルです。周りを邪魔すること無く且つ存在感のある音色です。



- キー・調子:B♭/F/G♭/D
- ベル:9-1/2"
- ボア:14.28mm(太管)
- パルプ:インフィニティ・アキシャルフローパルプ(インライン)
- 仕上げ:イエロープラスベル ラッカー仕上げ(GL) / ゴールドプラスベル ラッカー仕上げ(GB)

※ラージベル(10-1/2")あり(ラッカー仕上げ(GL)のみ)

Tenor Trombone

12

現行のバッカ「ストラッド」トロンボーンの中で一番細い12.70ミリのボアを持つ細管テナートロンボーン（ただし、数値の上ではバルブトロンボーンV16のボアサイズの方が細くなります）。7-1/2インチの小型のベルと相まって、非常にスピード感のある艶やかな音を出すことができますが、ベルが緩やかに広がる形状をしているので、バックトロンボーン特有の気品ある音色は失われていません。



- キー・調子:B♭
- ベル:7-1/2"
- ボア:12.70mm(細管)
- 仕上げ:イエローブラスベル ラッカー仕上げ(GL) / ゴールドブラスベル ラッカー仕上げ(GB)

16

ベルの口径は12と同じですが、スライドの上管と下管のボアサイズを変えたデュアルボアスライドを装着した細管テナートロンボーンです。マウスピース側の上管のボアが12.57ミリなのに対して、ベル側の下管のボアを12.93ミリと太くすることによって、細管独自の輝かしいさを保ちながら、心地良い音抜けとオープンな明るい音色を得ることができます。



- キー・調子:B♭
- ベル:7-1/2"
- ボア:12.57mm/12.93mm(デュアルボア・細管)
- 仕上げ:イエローブラスベル ラッカー仕上げ(GL) / ゴールドブラスベル ラッカー仕上げ(GB)

デュアルボア

通常同じボアサイズで作られているスライドの上管（マウスピースが付いている側）と下管（ベルにつながっている側）の太さを変えているのがデュアルボアです。両方のボアサイズを変えることによって、ベルに向かってだんだんと太くなる構造になり、息の入りがスムーズになります。



LT16M

バッカ「ストラッド」シリーズの細管トロンボーンの中で一番太い12.93ミリのボアを持つテナートロンボーン。ボアが太いことで、息の入り方がスムーズになり、ダイナミックレンジも拡大します。音色もそれに応じていくらか太めになりますが、ニッケルシルバー製のライトウェイトスライドを採用することで、明るめの締まった音色と、速いパッセージに適したスムーズなスライドアクションを実現しています。



- キー・調子:B♭
- ベル:7-1/2"
- ボア:12.93mm(細管)
- 仕上げ:イエローブラスベル ラッカー仕上げ(GL) / ゴールドブラスベル ラッカー仕上げ(GB)
- 他:ライトウェイトニッケルシルバースライド

36

Fアタッチメントが付いていないシンプルな構造の中細管テナートロンボーン。Fアタッチメントが付いていないことを除けば、ベル、スライド共、36Bと同じ仕様です。どんなダイナミックレンジでも明るい音色で鳴るのが魅力です。クラシックだけでなく、ジャズやロックなど、どんなジャンルでも万能に使える楽器で、42Bと持ち替えて吹く奏者も増えています。



- キー・調子:B♭
- ベル:8"
- ボア:13.34mm(中細管)
- 仕上げ:イエローブラスベル ラッカー仕上げ(GL) / イエローブラスベル 銀メッキ仕上げ(SP) / ゴールドブラスベル ラッカー仕上げ(GB) / スターリングブラスベル ラッカー仕上げ

42

Fアッチャメントが付いていないシンプルな構造の太管テナートロンボーン。Fアッチャメントが付いていないことを除けば、ベル、スライド共、42Bと同じ仕様です。余計なパーツが付いていないので、太管の豊かな音を持ちながら、明るい音色と抜けの良い吹奏感を得ることができます。オーケストラの第1奏者などで、Fアッチャメントが必要ない曲を演奏するときに42Bと持ち替えるプレイヤーも少なくありません。



●キー・調子:B♭ ●ベル:8-1/2" ●ボア:13.90mm(太管)
 ●仕上げ:イエローブラスベル ラッカー仕上げ(GL) / イエローブラスベル 銀メッキ仕上げ(SP) /
 ゴールドブラスベル ラッカー仕上げ(GB) / スターリングブラスベル ラッカー仕上げ

Alto Trombone

39

バック社唯一のアルトトロンボーンです。調性はE♭管で、小型のベルと細いボアを持ったスライドは、透明で明るい音色を生み出します。バロックや古典派のレパートリーには欠かすことができない楽器で、トロンボーンアンサンブルの最高声部に使用しても効果的です。この39は、アルトトロンボーンの中では比較的小振りなベルを備えていて、アルトトロンボーン本来の明るく気品のある音色がすると評判です。



●キー・調子:E♭ ●ベル:6-1/2" ●ボア:11.90mm
 ●仕上げ:イエローブラスベル ラッカー仕上げ(GL)

Valve Trombone

V16

スライドではなく、トランペットのように3本のピストンを備えたバルブトロンボーン。管は細管で、トロンボーンらしい輝かしい音色を持ちながら、バルブの操作による切れの良い運動性を得ることができます。トロンボーン奏者だけでなく、バルブ操作に慣れたトランペット奏者やユーフォニアム奏者がトロンボーンに持ち替えるときにも便利な楽器です。



●キー・調子:B♭ ●ベル:7-1/2" ●ボア:12.32mm
 ●仕上げ:イエローブラスベル ラッカー仕上げ(GL) / イエローブラスベル 銀メッキ仕上げ(SP) /
 ゴールドブラスベル ラッカー仕上げ(GB)

TB Series

TBシリーズ

TBシリーズは、“バックストラッド”に比べ、初心者の方でもより吹きこなしやすく、扱いやすいのが特徴です。伝統・世界標準のバックストラッドシリーズのコンセプトを受け継ぎつつ、価格は大変リーズナブルになっております。世界中の初級者から中級者まで幅広く愛用されています。

TenorBass Trombone

TB200B

テナートロンボーンTB200にFアタッチメント（※）を搭載したモデル。豊かでまとまりのあるバックサウンドを持ち、クラシックからジャズまでオールラウンドに使えるモデルです。

※Fアタッチメント…第6・第7あたりの遠いポジションは、Fレバーを使用することにより、第1・第2ポジションに変換することができるので、無理のない操作を可能にします。



●キー・調子:B♭/F ●ベル:8" ●ボア:13.34mm (中細管)
●仕上げ:イエローブラスベル ラッカー仕上げ (GL)

TB400B

STEP UP MODEL決定版の太管テナーバストロンボーンが誕生しました。人気の太管マウスピースが使用でき、豊かな響きを生む8-1/2インチゴールドプラスベル+反応の良いライトウェイトスライド+吹きやすい緩やかな形状の特製オープンラップを採用。ハイパフォーマンスかつ、優れたコストパフォーマンスで、このクラスの決定版です。



●キー・調子:B♭/F ●ベル:8-1/2" ●ボア:13.90mm (太管)
●仕上げ:ゴールドブラスベル ラッカー仕上げ (GB)

Tenor Trombone

TB200

TBシリーズの中で最もストラッドモデルに近いモデル。ほどよい抵抗感を持ち、ピアニッシモからフルティッシモまで幅広くコントロールが可能です。全音域にわたり、シンフォニックでラージな音色。中級者から上級者の方まで充分に対応可能な、コストパフォーマンスに優れたモデルです。



●キー・調子:B♭ ●ベル:8" ●ボア:13.34mm (中細管)
●仕上げ:イエローブラスベル ラッカー仕上げ (GL)

TB600

コストパフォーマンスに優れた初級者モデルながら、音色はしっかりと伝統のバックサウンドを継承しています。8インチのベルサイズ＆中細管で、心地よい抵抗感とまとまりのある音色を得る事ができます。クラシックからジャズまで幅広いジャンルに対応可能なモデルです。マウスピースは細管用のものを使います。



●キー・調子:B♭ ●ベル:8" ●ボア:12.93mm (細管)
●仕上げ:イエローブラスベル ラッカー仕上げ (GL)

